

お客様
への責任

次世代製品を創る研究技術開発

独創的な商品開発のために、要素技術(コア技術)を常に進化させます。そして、常に「創造 貢献」を開発の根幹として堅持していきます。

カシオの技術戦略と開発方針

開発の心

企業が社会的な貢献を果たすためには、事業の成功が不可欠です。カシオの経営理念「創造 貢献」は正にこのことを指しています。真に社会に役立つ新たな商品やサービスを「創造」し社会に提供し続け、それによって利益を創出し続ける事が従業員・投資家・協力企業や地域社会への「貢献」の前提となります。この活動の原点は技術開発と商品開発にあります。

新たな「創造」を技術開発を通して実現し、「貢献」をしていく姿勢が開発者には常に求められています。カシオに脈々と流れる開発者魂はここにあります。

研究開発の目指すもの

技術革新は日進月歩から秒進分歩の時代になっています。新しい商品やサービスの開発には、新しい技術の動向を理解するとともに、独自の技術開発を進める事が大事になります。

新しい技術を利用することで、従来にない新しい価値を持った製品や、従来ジャンルでも「より利便性の高い機能を有する」「より使い勝手がよい」「より手頃な価格である」「より携帯性に優れる」など新しい付加価値を提供できます。白黒テレビがカラーテレビに、固定電話が携帯電話に、紙の情報からインターネットへなど、新しい技術の開発があって、初めての、我々の生活はより便利に、より豊かになってきたのです。

カシオは、コンシューマ市場・オフィス市場・デバイス市場それぞれに向け、独創的な技術開発から普遍的な新しい価値を提供できるよう、必要なテーマ設定をしています。

製品を進化させる開発

カシオは独創的な製品の開発と進化のために、7つの技術領域を定め、技術サーチと技術開発を行っています。

これらの技術領域では

- ① 現行の基盤事業を強化し発展させる
- ② 市場競争が激しい戦略事業を勝ち抜き、安定した事業に発展させる
- ③ 社会変化・環境変化・消費動向の変化に対応する次世代商品やサービスを提供し事業化する

という視点から、それぞれの事業にとって必要な個別の技術開発テーマを設定し、その開発を行っています。

持続可能な社会を目指す開発

カシオの商品開発の特徴の一つに「小型・軽量・薄型・省電力」があり、電子辞書・電子時計・デジタルカメラ・携帯電話・ハンディターミナルなど、省エネ・省資源で高性能な使い勝手のよい製品開発を行っています。

具体的な技術開発としては、半導体の高性能化による部品点数の削減、低消費電力化による電池の小型化・ソーラー化、高密度実装技術開発による樹脂使用量の削減などに積極的に取り組んでいます。また再生材料の利用や、有害物質の不使用など、総合的な環境負荷低減にも積極的に配慮し、持続可能な社会を目指す開発をしています。

注力する重点技術領域

● LSI技術

- Newシステム ● LSI設計ツール ● 低電力化技術

● 高密度実装技術

- 高密度実装デバイス開発 ● 商品実装技術

● デバイス技術

- 出力デバイス(表示、Pr、など) ● 入力デバイス(撮像素子センサなど)
- エネルギーデバイス(SC・電池) ● 光学レンズ
- NEW(MEMS・有機)デバイス

● 通信・デジタル放送技術

- CDMA ● 超小型電池 ● GPS ● 近傍無線 ● デジタル放送

● 情報ネットワーク/システム技術

- ネットワーク技術 ● ソフトウェアプラットフォーム技術 ● システム応用

● ソフト・IP(アルゴリズム)技術

- 画像/音の圧縮伸張・認識 ● セキュリティ

● 環境技術

- 鉛フリー、資源、リサイクル、部品削減、有害化学物質使用禁止



執行役員
要素技術統轄部長 兼 知的財産担当

竹内 榮一

カシオは、これまで、「創造 貢献」を基本に、技術開発によって新たな商品で文化を創造してきました。今後も、上記の7つの重点技術領域をベースに、また特に環境問題(省資源、省エネルギー)を意識した取り組みで、更なる技術イノベーションを起こす事にチャレンジし、感動と利便性を与える商品開発で社会へ貢献し続けていきます。